

現行の神奈川県公立高等学校入学者選抜制度に関する検証について

- 検討協議会においては、神奈川県教育委員会教育局内で行われた検証結果も踏まえて、改めて現行の入学者選抜制度に係る課題を整理し、検証を行った。

神奈川県教育委員会教育局における入学者選抜制度に関する検証結果の概要

神奈川県公立高等学校入学者選抜制度については、概ね中学校学習指導要領の改訂の時期にあわせて制度の変更を行っている。令和3年度から中学校学習指導要領が全面実施されたことに伴い、現行の入学者選抜に関して、県立高校関係者などの意見を聴取しながら、教育局内において検証を行った結果の概要は次のとおりである。

【検証結果の概要】

- 現行入学者選抜については、制度の大きな変更を必要とするような課題は見られないものの、多くの受検者が受検する共通選抜において、学力検査、面接、特色検査を合わせると、最大で3日間受検することとなっており、受検者の負担となっている。
- 共通選抜の志願受付から、定通分割選抜の二次募集まで、入学者選抜の実施期間が長期に及んでおり、中学校教育だけでなく、高等学校の在校生の学びへの影響がある。
- 令和3年度から全面実施となった中学校学習指導要領では、すべての教科等の目標や内容が「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理され、学校教育をとおして育成を目指す資質・能力の明確化が図られている。このことに伴い、入学者選抜において評価・判定に用いる受検者の資質・能力について、再整理することが必要である。

<参考> これまでの入学者選抜制度の変遷

入学者年度	制度改善の主な内容	国の動き
平成5年度 平成6年度 平成9年度	○複数志願の導入 1回の受検で第1希望と第2希望の2校を志願可能	中学校学習指導要領改訂・実施 高等学校学習指導要領改訂・実施
平成14年度 平成15年度 平成16年度		中学校学習指導要領改訂・絶対評価導入 高等学校学習指導要領改訂・実施
平成24年度 平成25年度	○前期選抜・後期選抜の実施 評価尺度の異なる複数の選抜機会の提供	
令和3年度 令和4年度	○面接と学力検査を全面实施 前・後期の特性を生かし一本化	中学校学習指導要領改訂・実施 高等学校学習指導要領改訂・実施